遠野市監査委員告示第６号
平 成 ３ ０ 年 ７ 月 ２ 日

地方自治法第 199条第１項及び第４項の規定に基づく補助金等の監査を実施したので、同条第９項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員　　佐　藤　サヨ子
遠野市監査委員　　佐々木　資　光
遠野市監査委員　　瀧　本　孝　一

平成30年度補助金等監査結果報告書（平成29年度支出分）

１　監査の期日及び対象

平成29年度に支出した補助金、負担金・交付金、貸付金等（以下「補助金等」という。）について、書類による事前監査を平成30年５月14日から５月29日までの間の12日間及び担当各課等からの聞き取りによる監査を下表の４日間、延べ16日間実施した。

期　日	担当課等	補助金等の名称（交付先等）	交付金額
５月30日(水)	福祉課	遠野市障害者地域活動支援センター事業費補助金（Ⅲ型）	7,149,600円
	健康長寿課	介護保険サービス利用者支援事業費補助金（ともり会）	1,147,534円
	こども政策課	児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金	3,110,000円
		認定こども園めぐみ遠野聖光こども園運営費負担金	86,980,340円
	学校教育課	遠野市高校魅力化推進事業費補助金（緑峰高校）	1,837,000円
６月１日(金)	生涯学習スポーツ課	遠野市老人クラブ連合会運営費補助金	2,349,100円
		チャタヌーガ市との姉妹都市締結記念事業実行委員会負担金	4,020,000円
	畜産園芸課	遠野市耕蓄連携ネットワーク推進事業補助金	3,924,100円
	農林課	経営所得安定対策等推進事業費補助金	8,226,000円
		森林・山村多面的機能発揮対策交付金	3,098,750円
６月４日(月)	六次産業室	アスト加速化事業費補助金	800,000円
	観光交流課	遠野市観光振興事業補助金	10,000,000円
		遠野市観光推進協議会設立準備委員会補助金	2,780,000円
６月８日(金)	商工労働課	遠野市産業まつり実行委員会負担金	2,800,000円

２　監査の内容

補助金等に係る交付決定の事務及び支出事務の執行状況

３　監査の手順

(1)　50万円以上の補助金等の事業180件の概要について担当課長等から資料の提出を求め、そのうち14件を監査対象とした。

(2)　事前に監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

(3)　法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の使途は交付の趣旨に合致しているか等について監査した。

４　監査の実施率

項　　目	補助金	負担金 交付金	貸付金等	合　計
交 付 件 数 (各課等の報告件数)	１０１件	６１件	１８件	１８０件
監 査 件 数	１０件	４件	０件	１４件
監査実施率	９．９％	６．６％	０％	７．８％

５　監査の結果

補助金等に係る事業の公益性や補助事業者の適格性などを審査したところ、必要と認められる事業・団体等に支出され、交付目的や補助金等の対象事業の内容等も明確になっており、関係法令、要綱等への適合性、算定方法や交付時期の妥当性及び実績報告、完了確認、額の確定といった事務については、概ね適正に処理されていた。

なお、全般的に文書の収受処理（受付印の押印）漏れ、また、一部に申請書・実績書等に係る所要事項の記入漏れや様式誤り、書類間の日付の不整合が見られるとともに要綱の様式中の字句に錯誤が認められたことから、担当者任せにすることなく平時におけるダブル・チェックや人事異動に伴う事務引き継ぎには書類の精査・点検を改めて行うこと等の口頭指導を行った。

平成30年度からの組織改革に伴いスタッフ制が本格導入されたが、事務処理チェック機能の向上や若手職員の指導・育成等に関しては、これまで以上に留意されたい。

監査対象とした補助金等の個別の監査結果については、次のとおりである。

○遠野市障害者地域活動支援センター事業費補助金（Ⅲ型）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

障がい者に創作的活動や生産活動などの機会を提供し、社会との交流促進を通じて地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるようになるための活動に寄与していると認められる。

なお、本事業が行われている一日市通りの「カムカム」がある一角は、「コモンズスペース」「学びと創造の拠点」が隣接し、人々の集いのスポットとして発展しようとしていることから、関係部署間の連携強化と情報共有を進めることで、今後本事業がさらに効果的に展開されることを期待する。

○介護保険サービス利用者支援事業費補助金（ともり会）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額を軽減するための市独自の制度として、評価できるものであった。利用者負担軽減の対象者に対する諸手続き並びに利用促進のためのフォローは適切になされていた。

○児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

「子育てするなら遠野」を標榜する本市において、児童館及び児童クラブの利用料金は無料とし、児童たちの交流及び親子行事に要する経費の一部を給付していることは他の自治体にあまり例を見ない事例として高く評価される。異年齢による児童同士の交流、親子行事や世代間交流等、それぞれの施設ごとに特色ある活動を実施しており、児童の健全育成に寄与している補助金と認められる。

なお、平成30年度から補助金の算定基準を従来の「登録人数の階層区分割」から「基本額+人数割」に変更したが、今後もより効果的かつ公平な配分を目指して随時、見直しに努められたい。

○認定こども園めぐみ遠野聖光こども園運営費負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

親が教育又は保育のどちらかを選択できるシステムの施設である。負担金は正確に支給され、施設の円滑な運営や職員の処遇改善に適切に充てられていた。通園する幼児の健全な教育・保育のための施設運営に有効な事業であると認められる。

○遠野市高校魅力化推進事業費補助金（緑峰高校）

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

少子化に伴う高校再編は、子ども達にとって将来に向けての選択幅が狭められる事態であることから、市民一体となった行動で再編計画にストップをかけたことは評価できる。

この問題は２年毎にハードルが高くなることが予想されるが、再編計画見直しの継続的な行動を期待するとともに、今後は更に本市における新たな高校教育のあり方の追及にも努めて頂きたい。

○遠野市老人クラブ連合会運営費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市内各老人クラブは、団体活動を通じた高齢者の生きがい創出や健康維持・増進、コミュニケーション強化などを活発に行っており、高齢者が相互に連携を図るための重要な組織への補助金であると認められる。

しかし、加入者や構成単位組織は減少傾向の中にあり、いかに現状を維持し増加を図っていくかが課題と思われる。県老連においても若手会員の加入促進と年齢層に応じた活動のあり方が検討課題とのことから、ＩＣＴ健康塾、パタカラ企画、スキップポイント企画あるいは遠野テレビの楽タブ企画などとの連動を図った遠野スタイルの追及を続け、他市町村のモデルとなるような活動の展開を期待する。

○チャタヌーガ市との姉妹都市締結記念事業実行委員会負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

チャタヌーガ市とは、人材育成を目的に以前から高校生・中学生を対象とした交流事業が行われてきた。今回の姉妹都市締結に伴う記念事業の実施は、それを更に進め世界を知ることで遠野を知る、これからの当市の人財育成、地元経済再生創生の原点と思われる。

今後、文化交流の深化・拡大や産業の振興へと結びつくことを期待する。

○遠野市耕畜連携ネットワーク推進事業補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市の基幹産業である一次産業推進のキーワード「耕畜連携農業」を実証する事業のひとつとして、耕種販売農家と畜産農家等の連携を推進する補助金であった。10アール当り７千円の金額であるが、野菜・葉たばこ・遠野ホップの生産者は良質な堆肥を低廉に購入できることで経営安定化に役立っていると見られた。

この実証事業で得られたデータを活用した今後のネットワーク展開に期待したい。

○経営所得安定対策等推進事業費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市農業再生協議会における稲作農家の転作の、計画的かつ着実な履行に向けた事務等を推進し、稲作農家の所得向上の一環となる補助金であると認められる。

とも補償事業が廃止される今後において、遠野に適した米づくり、安定した米づくりと販売力の充実に結びつくことを期待する。また、次世代を担う若者に対して本事業の主旨の徹底を図る一策として、「いわてっこ」作付けに関する緑峰高校との連携企画に取り組まれること等も期待したい。

○森林・山村多面的機能発揮対策交付金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野郷の重要な観光資源である里山林の整備は、地元に大きな経済効果をもたらす事業の一つであり、皆で「永遠の日本のふるさと遠野」を守る制度に取り組むための里山林の荒廃防止・景観維持と機能向上に一定の効果がある補助金であるとともに、終局的には里山林の保護・活用に取組む地域住民の所得向上に結びつく事業と認められる。

なお、小規模な面積を対象とすることで森林組合と棲み分けをし、また、主に市民団体が活動していることは評価される部分ではあるが、専門知識の不足による事故などを招かないように注意をする必要もある。

○アスト加速化事業費補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市内の一次産業をきめ細かく支援する補助金であり、当該案件では遠野の農産物等を原材料とした新商品を開発する等の６次産業化を目指した事業を支援し、中心市街地にある飲食店が遠野産玄蕎麦を使用したメニューを提供するために使用する製麺機等の導入に対し補助が行われていた。リニューアル・オープンした飲食店の順調な滑り出しの一助になるとともに、市街地活性化に大きく貢献した成功例と認められる。

これを機に遠野産玄蕎麦のブランド定着を図り、蕎麦の生産規模拡大につなげるための足がかりにして欲しい。

○遠野市観光振興事業補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

毎年、遠野市観光協会の事業運営の支援を目的に交付されているが、昨年度に交付金額が400万円少なくなっていたのは、前々年度まで補助対象としていた事業の一部を、より効果測定を明確にできるように別枠で委託料としたことによる。観光客の減少傾向は更に厳しく、より満足度の高い観光地であることが求められている。市内観光・商工関係者を中心に情報共有と役割分担を図り、顧客ニーズに対応した魅力ある遠野型観光の確立に向けてオール遠野で一体的に取り組んで頂きたい。

なお、釜石・秋田道の全線開通、立丸峠トンネルの開通、宮古・室蘭定期航路フェリー就航など交通環境の大きな変化は、観光・交流人口にも変化をもたらすと予想されることから、この変化を的確に捉えた観光施策が強力に展開されることを期待する。

○遠野市観光推進協議会設立準備委員会補助金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

本市の観光推進を効率的かつ効果的に機能させるため、推進体制の整備や検討することを目的に交付された補助金であり、ほとんどがコンサルティング業務を営むＮＰＯ法人への外部業務委託の財源に充てられていた。

今後は、本推進協議会が主体的に問題を捕捉・認識した上で当該ＮＰＯ法人との連携を密にしながら、成果品に基づく観光客の誘客や今年度末開通予定の釜石・秋田道対策をはじめとする課題への対応を早急に進めるとともに、本推進協議会の構成員がこれまで集め分析した多くのデータを基に”観光まちづくり”の具体策を早急に打ち出されたい。また、連携に当たっては、本協議会構成員の組織・団体の代表者のみが関わるのではなく、従業員等も参画して情報共有や理解深化等を進める工夫・取組みをされたい。

なお、本協議会において遠野市観光協会の果たすべき役割は大きいと思われることから、遠野市観光協会には強いリーダーシップを期待するものである。

○遠野市産業まつり実行委員会負担金

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

年に一度、市内の商工業者や友好自治体が商品・特産品の販売・紹介を行う一大イベントで、多くの市民が楽しみに足を運んで買い求めており、一定の経済効果や親善友好効果が生じる意義のある負担金であると認められる。

しかし、入場者、売上金額、各出店への関心度等の客観的な数値の把握については、正確性を担保した集計方法へと工夫が必要であり、「地元産業を市民に周知し、その発展に期する」という目的に合致させた目標の設定並びに分析を徹底して産業まつりの更なる拡大を図って欲しい。